

受講料

府社協会員 5,000円

府社協非会員 10,000円

主催：京都府社会福祉協議会

支援職が学ぶ 看取りケア（基礎編）

～人生の最期を支える支援職（介護職、看護職）のために～

研修日時・開催方法

令和6年2月2日（金）9:55～16:15
ZOOM（オンライン）

高齢化社会の進行や制度の変更に伴い、支援職として利用者の最期に関わるケースが今後ますます増加すると考えられます。

その人らしい最期を迎えられるよう、私たち支援職は本人・家族に対して何ができるのか。他の専門職とどう連携するのか。遺された家族とどう関わることができるのか、など、看取りに関する知識や姿勢に加え、支援者自身のケアについても学んでいただくことを目的に本研修を開催いたします。

研修対象者・申込方法

対象 高齢者（障害者を含む）福祉施設の
支援職（介護職・看護職）

以下二次元コードを読み取りもしくはクリックしてお申込みください。申込受付が完了次第、自動返信メールが届きます。受講可否のお知らせが届くまで、大切に保管してください。

申込 締切：1月8日（月）9:00

受講可否通知は1月16日（火）までに郵送にて御案内します。

※申込フォームに入力いただいた個人情報は、当研修の適正かつ円滑な実施の目的のみに利用させていただきます。

※本会の広報活動の一環として、SNSを運用しています。本研修で写真や動画を撮影し、それらをSNSで公開する場合があります。写真や動画の撮影に同意されない場合は、申込フォームの該当欄にてお知らせください。承諾いただいた方のみ撮影させていただきます。



講師・研修内容

講師 加藤 友野 氏

関西福祉科学大学 社会福祉学科 教授（看護師）

専門分野：介護福祉（医療連携）、グリーフケア

- 9:30～ ZOOM入室開始
9:55～10:00 開会挨拶・オリエンテーション
【講義・グループワーク】
10:00～12:00 ①人の死とは？（多死社会）
②看取りケアの意義
③喪失の理解と死生観の意義
12:00～13:00 昼休憩
13:00～14:45 ④支援職ができる看取りケアの実践と（小休憩含む）心身変化
⑤グリーフケア
14:45～16:15 ⑥看取りのためのチームケア&セルフケア

※研修内容は変更する場合があります。

この研修は、きょうと福祉人材育成認証制度の支援メニューです



問合せ先

京都府社会福祉協議会 京都府福祉人材・研修センター 研修課

TEL：075-252-6296 / FAX：075-252-6312